



第6期宮前区区民会議 第1回会議

みんなで力を合わせてくらしやすい地域社会をつくろう

平成28年5月20日（金）18:00～20:00

宮前区役所4階 大会議室

次 第

1 開会あいさつ

2 出席委員の紹介、事務連絡 **P2**

3 第6期宮前区区民会議の進めかた **P3～5**

4 正副委員長の選出

◆委員長 _____

◆副委員長 _____

※委員長、副委員長は選出後、座席をご移動ください（座席表を参照）

5 議事（地域課題把握アンケート結果をもとに） **P6** ～ **P10**

6 その他の連絡事項

第1回準備部会日程	6月13日（月）18時より 区役所4階大会議室で行います
-----------	------------------------------

別紙1 第2回準備部会および第2回全体会 日程調整表提出のお願い

別紙2・3 区民会議だよりの委員紹介ページの原稿作成・写真提供について

配布資料目次

1 座席表

2 第6期宮前区区民会議 委員・参与・事務局名簿

3 宮前区区民会議の枠組み

4 第6期の進行イメージ（2年間）

5 28年度前半のスケジュール案

6 ～ **10** 地域課題把握アンケートの集計結果

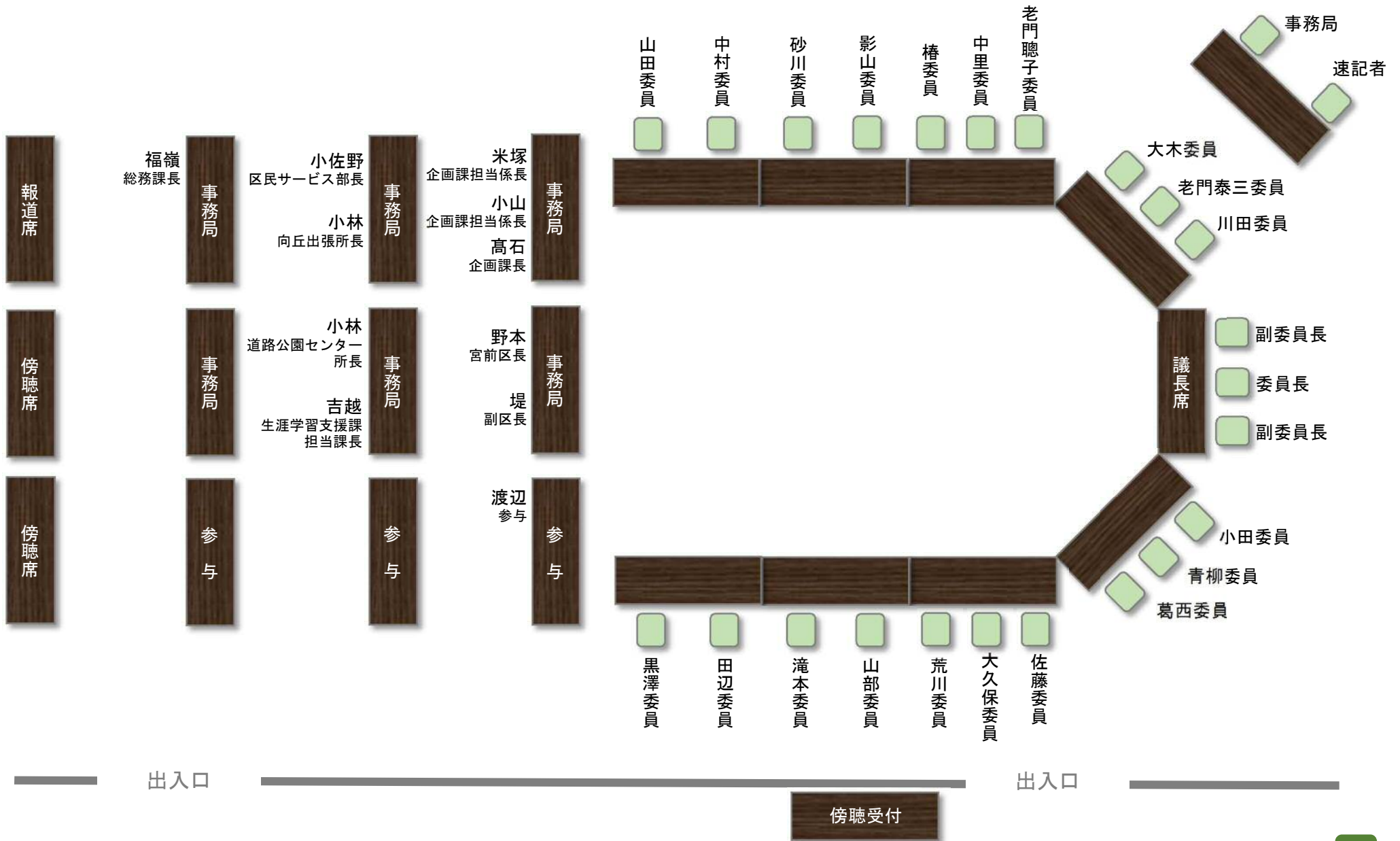
別紙1 第2回準備部会および第2回全体会 日程調整表

別紙2 区民会議だよりの委員紹介ページの原稿作成について

別紙3 第5期区民会議だよりの委員紹介ページ（参考）

第6期宮前区区民会議 第1回会議 座席表

平成28年5月20日 宮前区役所4階大会議室



第6期宮前区区民会議 委員・参与・事務局名簿

氏名	分野など	所属団体	新／再	
川田 和子	団体推薦	①防災・地域交通	宮前区自主防災組織連絡協議会	再任
老門 泰三		②福祉・健康	社会福祉法人宮前区社会福祉協議会	新任
大木 次郎			宮前区スポーツ推進委員会	再任
老門 聰子		③子育て・教育	宮前区子ども・子育てネットワーク会議	新任
中里 文雄			宮前区民生委員・児童委員協議会	再任
椿 雅美			宮前区地域教育会議	新任
影山 亥史郎		④自然・生活環境	グリーンフォーラム 21 みやまえ世話人会	新任
砂川 徹夫		⑤産業・まちの活力	宮前区商店街連合会	新任
中村 布佐子		⑥文化・観光	宮前区文化協会	新任
山田 桂		⑦地域組織・まちづくり	宮前区全町内会・自治会連合会（宮前地区）	再任
黒澤 克實	宮前区全町内会・自治会連合会（向丘地区）		再任	
田辺 洋一郎	⑧地域特性	宮前区まちづくり協議会	再任	
滝本 久美		みやまえ情報ラボ	再任	
山部 清美	公募		新任	
荒川 洋子			新任	
大久保 正克			新任	
佐藤 貴房			新任	
葛西 育子	区長推薦		再任	
青柳 和美			再任	
小田 育子			再任	

参 与					
市議会議員	浅野 文直	石川 建二	石田 康博	織田 勝久	添田 勝
	田村 伸一郎	矢沢 孝雄	山田 晴彦	渡辺 あつ子	
県議会議員	飯田 満	佐々木 由美子	持田 文男		

事 務 局			
宮前区長	野本 紀子	副区長	堤 健一郎
総務課長	福嶺 傑	企画課長	高石 佳明
生涯学習支援課長	吉越 厚善	区民サービス部長	小佐野 晃
向丘出張所長	小林 直樹	保健福祉センター所長	益子 まり
保健福祉センター副所長	池田 稔郎	保健福祉センター担当部長(地域みまもり支援センター担当)	松浦 和子
道路公園センター所長	小林 淳一	企画課企画調整担当係長	小山 貴志
企画課まちづくり支援担当係長	米塚 正樹		

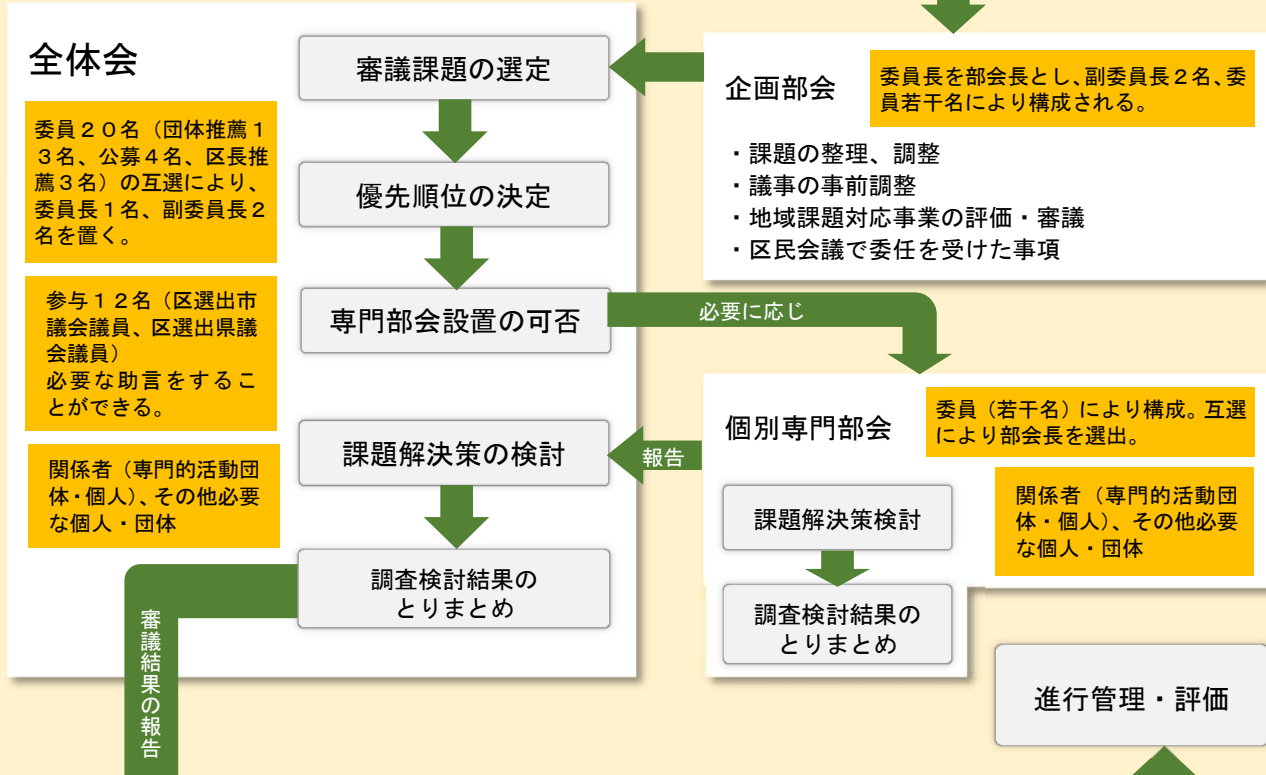
宮前区区民会議の枠組み

区民の暮らし、地域社会が抱える課題

課題の把握

- 区民会議委員が日ごろの活動などを通じて把握した課題
- 区役所が業務などを通じて把握した課題

区民会議



区長（区役所）

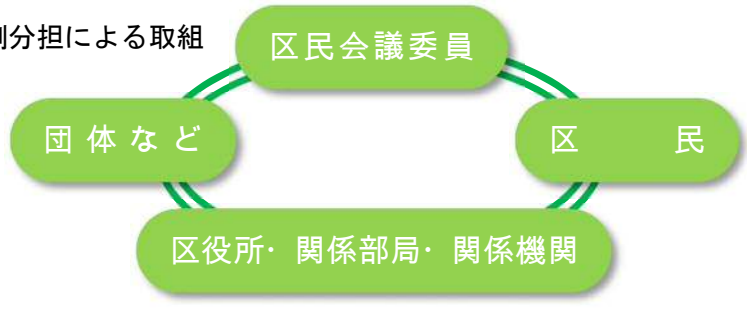
審議結果（解決の方向、方策）を尊重し、解決に向けた取組

- おもに区民の自主的な取り組みによる解決
- 区民と区役所が協働で解決
- 関係局区の調整により市として解決
- 国・県など他の行政主体等により解決

課題解決への取組

解決に向けた参加と協働

それぞれの役割分担による取組



課題の解決

第6期宮前区区民会議の進行イメージ

年度	月	進行の目安	全体会・部会等の開催	備考	
28	4		4/20 事前打ち合わせ会		
	5	地域の課題の検討、審議テーマ選び	5/20 第1回全体会		
	6		6/13 第1回準備部会		
	7	専門部会発足各テーマについての現状調査、目指すべき姿、理想像の確認	第2回準備部会		
	8		第2回全体会		
	9		専門部会①	専門部会①	
			専門部会②	専門部会②	
	10	企画部会(1)	第3回全体会		
	11	解決すべき課題の洗い出し、先進事例のサーチなど	専門部会③	専門部会③	
	12		専門部会④	専門部会④	
	1	フォーラムの開催内容検討	企画部会(2)	第4回全体会	
			専門部会⑤	専門部会⑤	
2		企画部会(3)			
3		区民会議フォーラム			
29	4	プラン作り	専門部会⑥	専門部会⑥	
	5		企画部会(4)	専門部会⑦	専門部会⑦
	6		第5回全体会		
	7		専門部会⑧	専門部会⑧	
	8		専門部会⑨	専門部会⑨	
	9		企画部会(5)	第6回全体会	
	10		専門部会⑩	専門部会⑩	
	11		企画部会(6)		
	12		第7回全体会		
	1		区長への提案		
	2	第6期の総括	企画部会(7)	第8回全体会	
			企画部会(8)		
3			区民会議フォーラム		

第6期宮前区区民会議 28年度前半のスケジュール案

5

4月20日

事前打ち合わせ会

区民会議について

- ◆ 自治基本条例DVD鑑賞
- ◆ 区民会議の概要の説明
- ◆ 任期2年間の流れについて
- ◆ 委員の自己紹介
- ◆ 地域課題把握アンケート配布（5月2日締め切り）

5月20日

第1回全体会

アイデア出しと意見交換

- ◆ 委嘱状の交付
- ◆ 委員長、副委員長（2名）の選出
- ◆ 審議テーマを決めるためのアイデア出し
- ◆ 次回全体会（8月上旬）の日程調整

6月13日

第1回準備部会

テーマ選びの方向性確認
意見のグループ分けと関連付け

- ◆ 審議テーマ選びの方向性確認
 - ▶ 区民会議で取り組むべきこと
 - ▶ 区民会議だからこそできること
 - ▶ 第6期のメンバーだからこそ取り組めること
- ◆ すでに把握している課題との突合せ
- ◆ 課題の分類と関連付け

7月

第2回準備部会

審議テーマ案の作成

- ◆ 審議テーマ案作成

8月

第2回全体会

審議テーマ決定
専門部会発足、部会準備会開催

- ◆ 各テーマの優先順位づけ
- ◆ 審議テーマを決定
- ◆ 委員の所属部会を決定
- ◆ 部会準備会
 - ▶ 部会長の選出
 - ▶ 審議テーマについて自由に意見交換
 - ▶ 部会の日程調整
- ◆ 第3回全体会（10月頃予定）の日程調整

地域課題把握アンケート集計結果

第6期宮前区区民会議委員の皆様からいただいた地域課題把握アンケートの内容を、分野ごとにまとめたものです。

分野① 防災または地域交通環境の向上など安全で快適な暮らしを支える分野

番号	提案者	分類	課題	概要	解決策・取り組み
1	老門(泰)	交通	交通弱者に住みよ いまちづくり	・坂道が多い割に交通網が粗い ・終バスが早く、夜間は交通過疎	・特区を申請し、福祉有償運送的交通手段の設立の設立(地区ごとに運用するNP0の立ち上げ) ・終バスの延長
2	大木	交通	駐車違反	尻手黒川線(2車線区間)の駐車違反。清水台～稗原区間の朝昼が特にひどい	何か対策ができないか。パトカーが回っているときは改善されている
3	中村	交通	地域のバス	馬絹に地区会館ができたが、交通の便が悪い	東急等と連携してバスの循環を良くする
4	山田	交通	交通環境整備	高齢化によりニーズが高まる地域拠点病院への交通環境の整備の遅れ	鷺沼駅周辺の再開発への積極的提案活動とその実現。特に駅前のバスターミナルの拡張・充実およびバスルートの整備
5	黒澤	交通	交通インフラ	1: あざみ野～新百合ヶ丘間 新駅を開設し、新駅周辺のまちづくりを目指す。区内には田園都市線の3駅のみで東京～横浜のベッドタウンとしては貧弱。 2: 菅生緑地公園を抜けてたまプラーザに直行するバスの必要性が高い。	1: 新駅周辺のまちづくりには、地域の各種団体の協働作業はもとより、地方創生の政府方針を活用 2: 横浜市との連携が肝心。行政、議員などの協働が必須
6	老門(泰)	住環境	楽しい散歩道	・歩車分離が無く、のんびり歩ける道が少ない ・一般に散歩道に適した道が知られていない ・季節を愛でながらのんびり歩ける散歩道の整備	・「〇〇の道」のように散歩に適した街路を設定し、地図上に周辺施設を二次元コード付きで設定する ・公衆トイレを一般企業・機関から募集し、散歩道に点在させる。公園のトイレ増設。 ・公園・街路樹を愛護会の積極設立で美しくする
7	砂川	住環境	ホームレス対策	ホームレスが路上生活するため地価が下がった、という人がある	区内にはどれくらいの路上生活者がいるのか。解決方法は。
8	小田	防災	防災意識の向上	・地震を想定した生活を送る ・一人ひとりの意識向上が重要	より詳細な防災マップの作成

地域課題把握アンケート集計結果

第6期宮前区区民会議委員の皆様からいただいた地域課題把握アンケートの内容を、分野ごとにまとめたものです。

分野② 福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野

番号	提案者	分類	課題	概要	解決策・取り組み
9	老門(泰)	地域福祉	地域包括ケアシステムの構築	・共助の部分が不明瞭。すこやか活動も廃止になり、むしろ衰退の感 ・困った人がいれば近くの人が気軽に声かけするまちづくり	・「サポーター〇万人計画」のようなキャンペーンを行い、区民に知らしめるor教育の場を重層的に設ける ・社協、町内会・自治会等が協働して推進母体となり、地域の実情に合わせたオリジナリティのある推進策を進める
10	老門(泰)	高齢者	認知症対策	・独居の認知症の方にとって絶望的な街に見える ・一人暮らしでも安心して住めるまち	・認知症サポーター研修を小・中学生から高齢者まで重層的に実施、啓蒙 ・認知症当事者の声を聴く場を設け、要望に沿うまちづくりを当事者と一緒に進める
11	山田	地域福祉	認知症・孤独死対策	認知症、引きこもり、孤独死等の問題がより深刻化し社会の活力が失われる。 安心して住めるまちを目指す	現在、地域交流カフェ・サロンの拡大が行われようとしているのを組織的に支援して幅広い活動とする。 地域団体、町会・自治会、地域包括センター、区の協働
12	田辺	地域福祉	コミュニティカフェ	・第5期くらし部会の継続。地域の、様々な理由で毎日が辛い人たちの癒しの場と時間をつくる ・第5期で検討・提案しきれなかった、小学校区で1つ程度の、誰でも入れる毎日やっているカフェを検討し解決策を提案する	①運営面では、運営団体の確立と運営者の確保。自治会・町内会をはじめ市民活動団体により準備委員会のようなものをつくって検討 ②場所に関しては、行政が空き家など場所の確保で汗を流してほしい
13	田辺	地域福祉	地域包括ケアシステムの機能化	地ケアの言う互助とは住民同士の助け合いだと思われるが、役所からの定義説明がない。それぞれの「助」を定義し、それぞれの具体的な役割を明確にしてもらわないと区民は動けない	まずは行政が自助・公助・共助それに互助の定義を明確にすべき。それを鵜呑みにするのではなく間違いがあれば正していく。その上でより豊かなケアシステムにすべく、それぞれの関係機関や団体の役割を明確にする。必要とあらばシステムの変更・改善も提案する
14	大久保	地域福祉	高経年集合住宅の課題の洗い出し	区内に多数ある高経年集合住宅は、高齢者の住まいとして様々な問題を内包している。「住み慣れた家・地域に住み続ける」地域包括ケアシステムを実現するうえで、何が問題であるのか居住者と行政双方共に認識していないように思われる	宮前区が川崎市の先陣を切ってこの課題を取り上げ、当該住宅の居住者へのヒアリング、アンケート等の実施を通じて問題の洗い出しと解決策・改善策を講じる。
15	葛西	地域福祉	福祉の包括的な情報の提供	子育てと介護、障がい者と高齢者介護、複数高齢者の介護など、複数の介護をする現状がある。子どもの貧困率も高い福祉を使うにしても上記の現状にある親は忙しく、情報収集できないことが多いので、福祉の情報を一元化し的確に相談等に対応できるようにする情報が得られれば、問題のある家の子どもも住みやすくなる	・官民合わせた子ども、子育て、障がい者、介護、貧困に関わる情報収集のボランティアを集め(とことこの編集のような)官民の情報収集をする。(民間の、介護者団体、介護ボランティア、小さな介護カフェ、子ども食堂、フードバンクなど民間団体の情報収集が重要)各地域の情報を集め、区役所の包括支援の相談事業などに活用する ・冊子にし、民生委員や地域子育て支援センターと、情報を載せた団体や機関にくばり、援助者に活用してもらう。区役所内のみ情報にしないことで支援団体同士を繋げる材料にもなる
16	小田	高齢者	孤立しがちな高齢者への支援	・区内には高齢者が多く、引きこもりがち ・外へ出る楽しみを経験することは、心身の健康に必要 ・安心して外出できる環境づくり	・外出する高齢者の安全のために協力してくれる店、タクシー、施設等に「こども110番」のようなステッカーを貼る ・小中学校で、教科外の時間(夏休み等)に高齢者支援団体による出前講座を行う
17	山部	健康	高齢者の健康年齢のアップ	要介護認定率が毎年多くなる傾向の為、街歩きで高齢者の健康年齢のアップを図る	宮前区は坂の多い区なので、坂マップを作成し年齢や体力に応じて街歩きを推進する

分野③ 子育て、教育など人を育て心をはぐくむ分野

番号	提案者	分類	課題	概要	解決策・取り組み
18	老門(聰)	子育て	孫育て情報誌	孫育てを頑張るお年寄りを目にするのが多くなった。そのような人たちをフォローすることが必要	行政や子育て支援者、子育て仲間が連携して、「とことこ」のような情報誌の孫育て版を作る。 →横浜にはすでにある?
19	小田	子育て	区内に伝わる昔話の絵本作り	・保育園、幼稚園、小学校低学年向けの絵本を作る ・できたものは子ども向けの施設等に寄贈する	・本作りの知識を持つ協力者が必要 ・書店の協力
20	中村	生涯学習	市民館	地域にあまり根付いておらず、一部の人にしか理解されていないのではないか	広報をもっと行う

地域課題把握アンケート集計結果

第6期宮前区区民会議委員の皆様からいただいた地域課題把握アンケートの内容を、分野ごとにまとめたものです。

分野④ 緑の保全、ごみの抑制など自然環境または生活環境を向上させる分野

番号	提案者	分類	課題	概要	解決策・取り組み
21	大木	公園	公園でボール遊びができない	子どもの体力低下にも影響しているのではないか	公園、自治会ごとに決まりを作ってボール遊びができるようにならないか
22	荒川	農	農家を応援し世代交流のできる場づくり	緑の宝庫と言われたみやまへの農地が宅地化され、高齢者の活動の場が減少している。地域の生涯現役で働く農家を応援し世代交流のできる場づくりを行う	地域ボランティアグループと、経済局農業振興センター、JAセレサとの協働事業をすすめる

分野⑤ 産業の振興、都市拠点の形成などまちの活力を高める分野

番号	提案者	分類	課題	概要	解決策・取り組み
23	荒川	地域コミュニティ	働く、生産できる環境づくり	地域以外の場に出かけて働く人口が多い区民。地域を守るのは、高齢者と小学生以下になるのでは心もとない。働く、生産できる環境づくりをめざす	空き家、空き商店の活用に町おこしの専門家の指導をうけ、地主、町会、行政、との協働事業の取組
24	佐藤	地域コミュニティ	起業・事業支援の場の創設	地域で独立起業や個人事業主を目指す人を支援する、または仕事を紹介し合える場を作る。	区役所か、あるいは各商店会等に提案する等

分野⑥ 文化または観光の振興などまちの魅力を発信する分野

番号	提案者	分類	課題	概要	解決策・取り組み
25	中里	魅力発信	安心していつまでも長く住みたくなる街・地域づくり	イメージが悪い地域には転入が減り、転出が増えてしまう一方で、地域への愛着がある人は長く住み続け、地域を良くしようと活動をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に愛着を持たせる（地域のグループ活動、地域の行事・祭り、地域の魅力を知る、など） ・子どもの頃から郷土愛を育む（行事への参加、伝統継承など） ・地域の魅力を再発見、住民に周知・広報
26	中村	魅力発信	若い世代をもっと引き出す	さくら祭り等のイベントにもっと若い世代を参加させる	広報を充実させ、多くの人に地域のイベントを知ってもらう
27	中村	魅力発信	駅	宮崎台・鷺沼・宮前平の駅に、区内イベント掲示板を設置する	ボランティアで解決できないか
28	山田	魅力発信	地域の魅力発信	情報展開の不足による地域の活性化不足。活力のある地域作りを目指す	区内外に対しての魅力発信強化 第5期で実現できなかった区内へのPR拡大と区外（首都圏を含む）への情報発信。区民会議・関連団体と区の協働
29	黒澤	魅力発信	宮前区が発信する大きな行事	1：区民祭は会場を北部市場から市民館・区役所へ変更後、参加・見学者が激減。区内外、市外からも注目の行事発信が必要 2：安心・安全で暮らし易い街、区の発信を目指す。	1：区民祭の会場を北部市場に戻す 2：宮前区には坂道が多いのが特徴、そこで、坂道競歩、ジョギング、マラソンといったイベントで（東京マラソンの様に）区外、市外から参加・見学者を増やす
30	佐藤	魅力発信	区内史跡の次世代への継承、記録・研究	馬網神社の富士塚や、白幡八幡大神の藁蛇等は、神社は長く残るとしても、部分としてさほど重要視されずに廃れてしまう恐れがある。次世代への継承とともに、記録・研究が不可欠	<ul style="list-style-type: none"> ・試行中のみやまえ魅力探訪の継続によって、魅力スポットの一つとして紹介する ・近隣の大学等に声を掛けて、記録・研究対象として提案する、等
31	佐藤	魅力発信	試行中の「みやまえ魅力探訪」の継続、発展	地域だが、新たに移転して来た住民にもその魅力が伝わっているか？ 「単なる住宅街」というイメージではなく、魅力的な場所に住んでいる事を実感できるようにする	「みやまえ魅力探訪」の継続、発展により、積極的に魅力を紹介していく まだバスツアーに入っていない白幡八幡大神等も・・・
32	青柳	魅力発信	一般参加型の区の日イベントの開催	区の特徴を生かしたイベントで、地域活性化、住民同士の交流を図る	区内の遺跡をコンセプトにした「遺跡祭り」で、仮装コンクール等 宮前区の地域を学ぶ
33	青柳	魅力発信	宮前の歴史・文化を広める	宮前の歴史文化を広めるため、一般公開の資料館を建設する。	宮前の農業に焦点を絞った展示。都市化が進み、農家が減った現状、農機具の展示、体験学習等
34	青柳	魅力発信	宮前の魅力発信	広い範囲への情報発信システムを作る	区内の魅力を再発見し、効果的な情報発信を行う。区外の人も呼び込み、区内にお金を落としてもらう魅力発信システム
35	小田	魅力発信	宮前区の歴史を掘り起こす	区民に昔の宮前区を知ってもらい、深い愛着を感じてもらおう	区の歴史的資料の中から特に目を引きそうなものを取り上げ、郷土史家等の協力を得ながらジオラマ作り
36	山部	芸術振興	音楽の街川崎の推進	川崎には素晴らしい施設（ミュージアム川崎）や音楽大学があるのに全体的にPR不足と感じる	市民と音楽関係者の交流の場を設け、市民に音楽を身近なものとして健康増進を図る

地域課題把握アンケート集計結果

第6期宮前区区民会議委員の皆様からいただいた地域課題把握アンケートの内容を、分野ごとにまとめたものです。

分野⑦ 地域住民組織活動、まちづくり活動など市民自治を推進する分野

番号	提案者	分類	課題	概要	解決策・取り組み
37	川田	地域コミュニティ	地域ネットワークの構築	地域の様々な団体、地域資源が連携する必要性	<ul style="list-style-type: none"> 自治会と福祉施設、企業、学校等のさまざまな分野の地域資源が連携し福祉の取組に共通意識を持つことで「安心で安全なくらし・健康寿命の推進等」を広く発信する 連携した取り組みが増えることで、住民同士の繋がりに結びつけば、防犯や防災時にも大きな力となる 区役所は地域に情報提供を行い繋げて行く役割を担う
38	中里	地域コミュニティ	住民の「区・行政」への関心度の温度差	<ul style="list-style-type: none"> 地理的要因による住民の関心度の温度差。区役所から離れるほど情報が薄れ疎遠に 市の地ケアは子ども、障害者、高齢者を含めての取組なのに多世代が利用できる拠点が無い。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の拠点づくり（特に区役所から遠い地域） 民間での喫茶室のようなもの（第5期のほっとやすらぎステーションの拡大版）
39	中里	地域コミュニティ	町内会・自治会への加入減	災害時など地域力が必要になるが、その元になるのが町内会・自治会。加入者の減少は問題	加入率の維持・改善
40	影山	地域コミュニティ	コミュニティ対策	<ul style="list-style-type: none"> 助け合い、絆の不足 「ファミレス社会」になってきた 共生、共助社会を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> エコマネー等コミュニティ通貨、手帳等の発行 農家、介護関係者等の参加
41	影山	地域コミュニティ	市民学級	<ul style="list-style-type: none"> 拠点（カフェ等）で開催しネットワークづくり 人材の発掘 	よろず相談学級
42	山田	地域コミュニティ	地域コミュニティの活性化	地域意識の希薄化。地方自治活動を支える町会・自治会を活性化し、安心・安全な町を実現	区民に対する継続的な情報活動の強化、活動拠点の整備・充実、支える人材の確保。町会・自治会と区の協働
43	荒川	地域コミュニティ	交流、活動の場として集まりやすい環境づくり	宮前区は地形、交通網ともに区役所へ出向くのに困難で、核となるには支障がある	区役所内に、気軽なカフェを創り交流の場にする。意欲のあるボランティアグループを支援する 区役所近辺の商店と消費者、区民、行政との交流をはかる。区民祭を盛り上げる
44	荒川	地域コミュニティ	キャリアの活用をし、地域で活躍しやすいコミュニティづくり	才覚のある住民が多いが反映させる機会が少ない。キャリアの活用をし、地域で活躍しやすいコミュニティづくりをする	地域の中で、金銭を媒介せず、お互い様との思いやりで助け合いができるシステムづくり。 既存のボランティアグループの活用を手始めに交流する
45	大久保	地域コミュニティ	居場所づくりの成功例、応用方法の情報収集	多世代交流の場や機会が求められているが、その成功例や、応用例についての情報交換に乏しい。生活環境に地域差がある宮前区で画一的なマニュアルは作り得ない	<ul style="list-style-type: none"> 居場所作りにたずさわる人の育成。育成された人が、自らの住む地区・地域の特徴やニーズを取り入れながら居場所作りを行う 「住み慣れた地域」とは必ずしも区内とは限らない（例えば区中西部の住民は横浜市青葉区が生活圏の一部）ので、行政は行政区域を超えた協働への準備が必要
46	大久保	地域コミュニティ	自治会・町内会の区割りの見直し	中学校区程度を基準とする地ケアは、金銭でのサービスでは適正なサイズだが、自助・互助は小学校区程度が適正。現在の多様な行政区割りや、全く住民の関心を引かない巨大自治会・町内会の区割りは近隣融和の妨げではないか	モデル地区を選び、防災や互助の観点から自治会・町内会の区割りを見直し、投票所の区割りと小学校区を一致させる。「地域に住んでいる」意識を高めることで、自治会・町内会加入率の向上へつなげる
47	佐藤	地域コミュニティ	困ったときに助け合える関係の再構築	集合住宅内での新しく無理のない近所付き合いを考えたい	犯罪への警戒等もあり、昭和型コミュニティの維持は難しい。若い世代のスマホ漬けを逆手にとって、ネットで近所さんと知り合えるような仕組みを。佐々木元委員に相談？
48	青柳	地域コミュニティ	転入者が宮前区を住みやすく感じるようにする	宮前区を住みよいと感じるように、転入者向け交流会を行う	転入して1年未満の人を対象に交流の場を設け、人と繋がるきっかけを作る
49	影山	世代間交流	世代間交流対策	<ul style="list-style-type: none"> 外出しても腰を下ろせる場所が少ない 坂の多い地域のため、休憩場所の整備が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ベンチを寄付で作る（寄付者の名前を記載） デザイン企画コンペ
50	老門（聴）	世代間交流	世代間交流の拠点づくり	鷺沼エリア（鷺沼、土橋、犬蔵、小台）にはいこいの家や子ども文化センターが皆無。宮前区は他区と比べて、いこいの家は非常に少ない印象	公園や集会所を利用して「すこやか活動」、カフェ、茶話会、子育てサロンや自主保育等に活発に取り組んでいるが、会場の狭さに苦慮している。いつでも気軽に立ち寄れる場が点在してほしい。屋間独居の高齢者や、子育て中の若い方が気軽に利用できる場 →空き家利用？地域と行政、市民が連携

地域課題把握アンケート集計結果

第6期宮前区区民会議委員の皆様からいただいた地域課題把握アンケートの内容を、分野ごとにまとめたものです。

分野⑧ その他の課題

番号	提案者	分類	課題	概要	解決策・取り組み
51	黒澤	区民会議	地域の合理的課題把握・対応	宮前区が抱える課題を、在住地域、立場などの視点から短期・中期・長期に分類・把握し、区長経由で区民へ誠意のある報告をし、共通認識が必要	1：課題調査・把握を検討する専門部会を作る。メンバーは6期3～4名で構成 2：解決・取組は課題調査・分析から行政、関係団体を入れて協議、対応する
52	黒澤	区民会議	課題取組の継続システム	第1～4期の取り組み実績も含め新たな取組継続を目指す。 取組は区外・市外にも浸透する工夫が必要	1：くらし部会の様に、行政側・地域の代表である自治会長との協働作業にて地域を束ねる団体の組織創りが重要 2：魅力探訪では、何年も前から手掛けているまちづくり協議会との連携が必要
53	田辺	区民会議	過去の区民会議テーマの実施の検証	これまで区民会議で取り上げられたテーマの“その後”を追う。実現されなかったテーマは何故実現できなかったのか、実現されたが先細りとなったテーマは何故盛り下がったのか	区民と有識者による第三者委員会をつくって調査する。 <区民会議の通常のテーマとは異なるかもしれないが、今後の区民会議のあり方を検討する上で重要と考える>

第2回準備部会および第2回全体会 日程調整表

別紙1

お名前 _____

●第2回準備部会……以下のいずれかのご都合について○・×を記載願います。

7月12日（火）18:00～20:00	
7月13日（水）18:00～20:00	
7月14日（木）18:00～20:00	

※会場は区役所大会議室を予定しております。

●第2回全体会……以下のいずれかのご都合について○・×を記載願います。

8月2日（火）18:00～20:00	
8月3日（水）18:00～20:00	
8月4日（木）18:00～20:00	

※会場は区役所大会議室を予定しております。

5月27日までにご提出ください
直接、FAX、メールいずれの方法でも結構です

【宮前区区民会議事務局】
（宮前区役所企画課 小山・小西担当）
電話 044-856-3136（直通）
FAX 044-856-3119（直通）
メール：69kikaku@city.kawasaki.jp

区民会議だより・委員紹介ページの原稿作成について

別紙 2

お名前、③宮前区の好きなところ、④区民会議での抱負をご記入いただき、FAX、メール、ご持参等により、ご提出ください。(参考に第5期の区民会議だよりを添付いたします)

お忙しいところ恐縮ですが、6月3日までにご提出ください

お名前	
-----	--

- ① お住まい（町名まで。例：「宮前平2」）
- ② 選出区分（団体名。または「公募」「区長推薦」）

※上記については、いただいた情報をもとに事務局で作成します。掲載が不可の場合は、ご連絡ください。

- ③ 宮前区のおすすめスポット（15字まで）

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

- ④ 区民会議での抱負（60字まで）

- ⑤ 写真をご提供ください

- ▶ご持参の場合…6月13日（月）の区民会議準備部会の際にご提出ください
（電子データでも結構です。紙の場合はスキャン後ご返却いたします）
- ▶メールの場合…下記アドレスあて添付してお送りください
（ファイルサイズは10MB以内でお願いいたします）

宮前区区民会議事務局

宮前区役所企画課 担当：小山・小西
☎216-8570（住所不要）宮前区役所企画課
でんわ 044-856-3133（直通）
FAX 044-856-3119（直通）
メール 69kikaku@city.kawasaki.jp

どんな人たちが参加しているの？

第5期宮前区区民会議委員

平成26年度～27年度の2年間を任期とする「第5期宮前区区民会議」の20人の委員のプロフィールと抱負を紹介いたします。(敬称略・順不同)

氏名(ふりがな) ①住所 ②選出元 ③宮前区のココが好き ④区民会議での抱負



宮崎 孝 (みやざき たかし) 委員長

①馬絹②商店街連合会③緑が多く、変化に富んだ街並み④魅力的な街の実現に向け、柔軟な発想で取りくみたい。

再任

佐々木 良司 (ささき りょうじ) 再任

①土橋②区長推薦③適度に街と自然の均衡がとれており、マナーの良い温かな人が多いところ④大きな街が無い区ですが、宮前区なりの住みやすさと、便利さをどうしたら実現できるか、考えていきたい。

再任

太田 公子 (おたき みこ) 再任

①宮崎②区長推薦③新住民にやさしく、女性が元気なところ④高齢者の方、障がいのある方、誰もが安心して住み続けることのできる「まちづくり」をめざしたいと考えています。

再任

大木 次郎 (おおき じろう) 委員長

①宮生ヶ丘②スポーツ推進委員会③新しい街と里山が混在するところ④スポーツ推進委員の立場から、住み良い街づくりを目指し、課題に取り組みます。

笹川 進 (ささがわすすむ) 委員長

①野川②文化協会③宮前区公共施設④特に市民館は、交通の利便性、駐車場対応、ホール使用時は舞台装置、音響、照明、楽屋、大変使い易く、大勢の区民の皆さんにわかってもらいたい。

川田 和子 (かわだ かずこ) 副委員長

①宮生ヶ丘②自主防災組織連絡協議会③緑が多く、地域活動が活発④私たちが暮らす宮前区が、住みやすい環境であるために、いろいろな分野から選出された委員とともに、さまざまな視点で検討していきます。

田辺 洋一郎 (たなべ しょういちろう) 委員長

①東有馬②まちづくり協議会③道がまっすぐでないところ④さまざまな形で生活している人たちにとって暮らしやすい「まち」になるような仕組みをつくれたらよいと考えます。

山田 桂 (やまだ かつら) 委員長

①鷺沼①丁目②全町内会・自治会連合会(宮前地区)③緑と街並みが良く調和していること④社会状況が変化の中で明るく安全で安心して住める街作り・市民活動等の方向付けに貢献して宮前区を愛するところを醸成させたい。

青木 寅治 (あおき とらじ) 委員長

①野川②社会福祉協議会③緑が多く自然が残っている④人と人との絆を深め、支えあい・助け合いの共助社会の実現のため頑張りたい。

葛西 育子 (かさいいこ) 委員長

①五所塚②丁目③子ども・子育てネットワーク会議④緑が多く、人に優しい、楽しい街⑤子育て支援に関わって20年になります。親子が地域の方々と繋がって子育てしやすい宮前区になってほしいと願っています。

青柳 和美 (あおやぎ かずみ) 委員長

①有馬⑥丁目②公募③新しいまち並みと残されている自然の風土④世代を越えて誰もが「宮前がふるさと」と思えるようなまちでありたい。区民目線で視野を広げて物事を考えみなさんと活動出来ればと考えます。

大槻 幹雄 (おおつき みさお) 再任

①宮生③丁目②地域教育会議③閑静で緑にまつまられたところ④住みよ、特徴のある地域へ。以前策定の「めざすべき都市像」の実践。即ち、豊かなコミュニティ、誰もが住み続けられるまち。交通の利便性アップ。

再任

滝本 久美 (たきもと くみ) 委員長

①宮前③丁目②みやまえ情報ラボ③子どもが多い。緑がいっぱい④みやまえ情報ラボでの区内の取材は地域の宝探しの様でした。顔の見える、生きた情報を人・まちのタテ・ヨコ・ナナメの縁を結びつつ、探究していきたいです。

黒澤 克實 (くろさわ かつみ) 委員長

①宮生③丁目②全町会・自治会連合会(向丘地区)③ジョギングが楽しめる菅生緑地④各自治会の共通課題を検討し見解・提案について区民会議から自治会へ発信したい。提案内容が発信できる程のレベルになるか不安ですが頑張ります。

鈴木 晴夫 (すずき はるお) 委員長

①東有馬⑤丁目②区長推薦③生まれ育った街が好きです④「住んで良かった」「これからも宮前区に住み続けたい」。子や孫にもそう思ってもらえるような宮前区にしたいです。

小田 育子 (おだいこ) 委員長

①宮崎②区長推薦③樹木と花が多く四季を感じられる④自然の中で憩える環境の整備、文化や歴史を紹介し魅力をPR等の活動をしていきたいと思委員の方々と協力していきたいです。

中里 文雄 (なかざと ふみお) 委員長

①野川②民生委員・児童委員協議会③都会的で古い物を大切にしている所④「安心安全な町」を基本に「魅力ある町・誰もが住みたい町」そして「幾度も訪ねてみたい町」そんな宮前区になればと願っています。

本郷 一雄 (ほんごう かずお) 再任

①宮生③丁目②グリーンフオーラム③21みやまえ世話人会③緑と川と商店が混在する面白さ④宮前区に特化した課題に地域課題対策費の利用を願っています。配布には区長と区民会議委員とその筋の専門家が関与する方法で…。

再任

川畑 武敏 (かわばた たけとし) 委員長

①小台②丁目②公募③中級の生活環境であるところ④子どもから高齢者、障がいを持ってても、安全で安心できる宮前区独自の地域包括ケアシステムを構築していきたい。

細谷 草子 (ほそや あやこ) 委員長

①宮前②丁目②まちづくり協議会③緑、農地、公園などが多いこと④高齢化が進み、又転入の多い宮前区です。みんなが住みやすいと思える「まちづくり」を提案できたいと思います。

宮前兄妹 メロー&コスミン

①くやくしよ②メロン畑③宮前区にたくさんある坂道と甘いもの④宮前区を地域からもりあげていこっ!!

第5期宮前区区民会議 委員データ

男性 14名 女性 6名
 団体推薦 14名 公募 2名
 区長推薦 4名
 新任委員 15名 再任委員 5名